

議会だより

■発行:佐渡市議会 ■責任者:梅澤雅廣 ■編集:議会報編集特別委員会
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎(0259)57-8133



宿根木まつりの「ちとちんとん」
(県民俗文化財指定)



9月定例会

平成18年 第4回佐渡市定例会	2p
人事案件・請願・陳情・意見書・その他	3p
一般質問・緊急質問	4～12p
常任委員会活動報告	13～16p
特別委員会活動報告	17p

議会質問その後 追跡	18p
平成18年 6月定例会常任委員会の 要望・意見に対する処理状況	19p
傍聴のこえ・議会のうごき・ 行政視察来市状況・表紙紹介・編集後記	20p

平成18年 第4回佐渡市定例会

平成18年第4回（9月）定例会が9月7日～26日の20日間の会期で開催されました。

一般質問には、16人の議員。緊急質問では、2人の議員が登壇し市政をただしました。

予算については、歳入歳出に12億3562万円を追加し、総額473億2837万円とする一般会計補正予算案など24議案を可決しました。請願・陳情各1件を採択、陳情1件を不採択としました。

また、意見書3件を可決、人事案件に同意し、平成17年度病院事業会計決算など3件を決算審査特別委員会に付託し、閉会しました。

主な議題

平成18年度佐渡市一般会計補正予算（第4号）について

財産の取得について

佐渡市消防本部庁舎建設用地として、佐和田・八幡地内の土地を取得

佐渡太鼓体験交流館の設置及び管理に関する条例の制定について

佐渡市議会の定数を定める条例について
定数は28人。平成19年1月1日から施行し、その日以降の佐渡市議会選挙から適用

人事案件・請願・陳情・意見書・その他

二宮財産区管理委員の選任について

野 螻 けむらぶ 正 男

市野沢634番地

昭和14年11月25日生

全国市議会議長会表彰

浜 口 鶴 蔵 議員（市議会議長在職4年）
牧 野 秀 夫 議員（市議会議員在職10年）
猪 股 文 彦 議員（ ）

採択された請願

公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書提出に関する請願

採択された陳情

集配局の廃止再編計画に反対する意見書採択に関する陳情

否決された陳情

佐渡市議会「特例任期見直し」について

議決された意見書

集配局の廃止再編計画に反対する意見書
道路特定財源に関する意見書
公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書

臨時議会が開催されました

7月27日第3回

本臨時会では、国民健康保険税条例の一部改正や、歳入歳出に960万円をそれぞれ追加し総額460億2697万円とする一般会計補正予算案など6議案と意見書2件を議決しました。

継続審査となった請願・陳情

個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める請願

関税引き下げとミニマム・アクセス米の拡大を許さず、食料自給率向上と地域農業の振興を求める請願

「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願（2件）

地方切り捨てをせず、住民の安全と安心を守る公的機関の役割を重視し、住民のサービス向上を求める陳情

議決された意見書

固定式地上設置型レーダー「PS-XX」配備に関する意見書
北朝鮮ミサイル発射に対する意見書



一般質問



ココが聞きたい!!

- 大澤 祐治郎 議員……………4
一向に見えない高野市政をただす
- 祝 優雄 議員……………5
改善されない病院経営
- 小田 純一 議員……………5
ガメラリーダー島民に選択権を
- 猪股 文彦 議員……………6
中高貫校は両津高校に
- 加賀 博昭 議員……………6
自民公明連立内閣の弱者いじめは許せない
- 金光 英晴 議員……………7
財政の見通しについて
- 村川 四郎 議員……………7
「佐渡島」の呼称統一を
- 松本 展国 議員……………8
市長の政治姿勢について
- 肥田 利夫 議員……………8
解決する勇気を
- 田中文 夫 議員……………9
市政には地域の思いと力を集めて支える役割を
- 稲辺 茂樹 議員……………9
自主自立の島づくり
- 本間 千佳子 議員……………10
景観に優れた島づくり
- 廣瀬 擁 議員……………10
時代遅れの佐渡観光施策
- 小杉 邦男 議員……………11
妙見山頂のリーダー配備について
- 中村 良夫 議員……………11
まもろう 佐渡の郵便局
- 近藤 和義 議員……………12
行政改革を断行すべき

一般質問

大澤 祐治郎 議員

一向に見えない
高野市政をただす



【質問】 5年5か月の小泉長として若者の定着に必要な期政権が幕を引き、本日新雇用機関の誘致、拡大は、進んでいるか。島の重大な経済効果を担う観光産業の進展は改善されているか。尋ねる。

【市長】 いろいろな方向、角度から模索しているが、残念ながらいずれのテーマも決定打がない。しかしながら手をこまねいて、じっと方向に導いて安心安定のあり島づくりをするのか。再三、公約で謳った人口の確保、安定した税収の見込み、島の後継者である若者の定着に必要な雇用機関の設立が何一つ実現されていない。

【質問】 大きく政策転換をすべきだ。時には血を流すべく、時に決意が必要だ。雇用機関の確保、国営空港の実現、人口・税収の確保のために航空自衛隊を誘致する3原則をただす。人口増に名前があるか。後継者対策がどうか。

【市長】 大澤議員の持論で興味はあるが、島民合意が得られる環境にない。しかし、代案を真剣に考えたい。

【質問】 人口増、税収の伸び、若者の定着は、高野市政が解決すべき重大な使命であり、真剣に取り組む方向が必要だ。7万2000人の時点で借りた巨額の合併特例債の返済が10年後には始まる。人口は半分になる可能性がある。当然、税収も比例して返済は非常に厳しい困難を来すのは明白だ。特別債後の財政運営をどのように想定しているか。

【市長】 特別債の再度見直しを図り、健全な財政の運営に努めたい。



航空自衛隊基地 (イメージ)